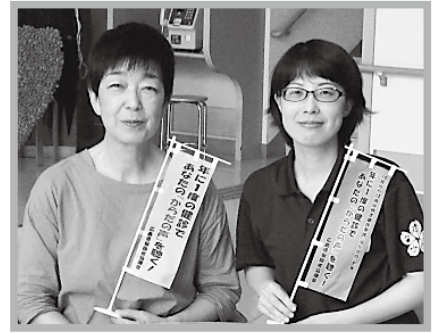


【健診シリーズその2】

精密検査は必ず受けましょう！

～がん検診編～

9月は「がん征圧」月間です。



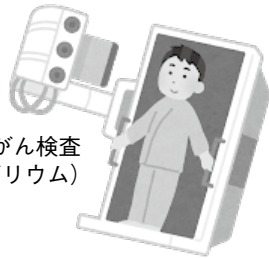
西城支所市民生活室

専門員
保村 深雪

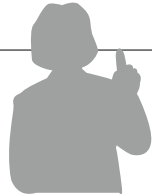
主任保健師
大前 弥生



乳がん検査
(マンモグラフィ)



胃がん検査
(バリウム)



実際ががん検診を受けて
がんが見つかった方からのコメント
西城町 Yさん (女性・80歳代)

もう年だし、今は元気だから大丈夫かなと思って7年ほど健康診断やがん検診を受けていませんでした。健診の締め切り間際に友人から「年は関係ないから、一緒に受けよう」と誘われ、久しぶりに乳がん検診を受けてみると、乳がんの疑いという結果が……。若い時に何度か乳がん疑いで診てもらっていたので、精密検査を受けなくても大丈夫かなと思っていましたが、保健師さんに勧められてすぐ外科を受診。自覚症状はありませんでしたが、検査の結果早期がんと判明し、手術を受けました。今、術後丸3年を迎えました。健診と精密検査を受けて本当に良かった。誘ってくれた友人が命の恩人です。

自分のからだの状態を知っていますか？

がん検診を受診後に「精密検査」のお知らせが届いた時、皆さんはどう対応していますか？
「すぐに診てもらおう」人もいれば、「毎回精密検査のお知らせが届くけど毎回大丈夫だから、受けなくていいかな」という人もいます。または、「自覚症状がないし、もう少し様子をみたい」「仕事も休めないの、もう少し後で受けよう」と、精密検査をすぐに受けない人もいます。
現在、日本人の2人に1人は「が

ん」にかかると言われています。個人差はありますが、がん細胞が1cmの大きさになるには15年から20年かかりますが、1cmから2cmになるにはわずか1年半程度と非常に短期間です。早期のがんは2cm以下を指すため、がんを早期に発見するには、「少なくとも2年に1度」は検診を受ける必要があります。庄原市のがん検診では、毎年、数人ががんが発見されています(表参照)。ただし、これは精密検査を受けて初めて分かることです。
「受けっぱなし」の検診でなく、精密検査が必要という結果が届いたら自己判断せずに必ず専門医を受診しましょう。

healthy column

Topic “サンデー脳ドック”をご利用ください

西城市民病院では、日曜日に脳ドックを受けられる体制を整え、8月から健診を開始しました。

脳ドックでは、MRI(エムアールアイ)検査を行います。この検査とあわせて、動脈硬化の程度を確認する頸部エコーも実施します。利用料金や申し込み方法など、詳しくはお問い合わせください。

- 実施日：毎月第4日曜日 9時～
- 対象者：40歳以上の方
- 申し込み・問い合わせ
西城市民病院医事係 ☎0824-82-2611

平成26年度集団健診がん検診

(単位：人)

検査項目	受診者数	要精密検査数	がんが発見された人数	要精密検査未受診者数
肺がん	1,897	82	1	5
胃がん	1,243	77	3	7
大腸がん	1,856	135	7	20
前立腺がん	589	36	7	5
子宮がん	1,023	20	1	2
乳がん	665	55	7	2

(H27年4月30日現在集計結果より抜粋)